



2012年度聖句

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
どんなことにも感謝しなさい。

(テサロニケの信徒への手紙Ⅰ第5章16～18節)



いずみちゃん クラークくん
(クラーク学園和泉短期大学のマスコットキャラクター)

izumi ニュース Vol.13

和泉短期大学 広報渉外ユニット
発行責任者 理事長 深町 正信

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1
TEL.042-754-1133 (代表)
URL:<http://www.izumi-c.ac.jp>

2011年度 第46回 卒業証書・学位記授与式、および修了証書授与式(和泉クラーク・ホール)

新年度挨拶「自分を励ます」 学長 伊藤 忠彦 2

特 集 特集「図書館の活動」図書館長 井狩 芳子 4

izumi TOPIC

- | | | | |
|---------------------|---|---------------------|---|
| ●祈りの言葉（抜粋） | 2 | ●2012年度新入生歓迎会 | 5 |
| ●2012年度新入生研修会 | 2 | ●キャンパスショップ人気商品ベスト5 | 5 |
| ●新入生の声 | 2 | ●イースター特別礼拝、創立記念礼拝 | 5 |
| ●2011年度真鍋記念奨学生特別奨学生 | 3 | ●スクールバススタンプカード発行 | 5 |
| ●中島武夫・讃岐和家記念賞 | 3 | ●活躍する卒業生 PARTⅢ | 6 |
| ●日本介護福祉士養成施設協会表彰 | 3 | ●退任教員挨拶・退任役員紹介 | 6 |
| ●宗教部ウェルカムパーティー | 5 | ●故・讃岐 和家 元学長夫人からの手紙 | 6 |



自分を励ます

学校法人 クラーク学園 和泉短期大学
学長 伊藤 忠彦

同じ目標をもつ、友と共に学ぶ学生生活ではあっても、楽しいだけではありません。辛く挫折してしまいそうになることも少なくないのです。そんな学生時代に私が知ったことは、生きていく為には、繰り返し、自分で自分を励ますことをしなければならないということでした。

旧約聖書でその名がもっとも多く記されているダビデ王が、若い時に直面した絶望的な状況の下で、挫けそうな自分を、主なる神を思い起こして奮い立たせたというのです。「だが、ダビデはその神、主によって力を奮い起こした」（サムエル記上30章6節）のです。戦いを終え、戦場から自分の町に帰って来ると、町は敵によって焼き払われ、ダビデの妻子だけでなく、その部下たちの家族もみんな連れ去られていたのです。みな泣き、悲嘆にくれ、やり場のない怒りでダビデを殺そうとまで言い出したというのです。しかし、ダビデはその神、主を信じて自分を励まし、力を奮い起こしたのです。

16世紀の宗教改革者ルターも、教会から破門され、死を覚悟するほどの最も困難な状況の下で「おまえは、キリスト教徒になる洗礼を受け、キリストの十字架の死と復活の命に結ばれた者ではないか」と言って、自分を励ましたということです。

身近な先生から、こんなことも学びました。「赤飯」というエッセイで書いているのですが、この先生は高齢になり、それまで読んでいた洋書（西洋の書物）を読み通す困難に直面します。先生は読み続ける努力をする為に洋書を読み終えると、お赤飯を炊いてもらい、奥さんとささやかなお祝いをして、ご自分を励ましたということです。

祈りの言葉（一部抜粋）

宗教部長 横川 剛毅 准教授

新入生一人一人の心と体と生活が支えられますように。
意欲をもって学び、知識と技術を十分身につけることができますように。
そしてそれらを活かすための人間性が、さまざまな出会いや関わり、経験の積み重ねによって確かに磨かれていきますように。
また、人を育て支える者となることを目指すこの一人一人が、これまでに増して自分の家族に感謝することができますように。
出会う人の痛みに気づき、隣に行って共感できる者となれますように。
そして、自分の痛みを神様に打ち明け、助けをいただいて歩めますように。
育ててこられた保護者、ご家族のもともあなたへの祝福が豊かになりますように。
与えられた環境の中で、風や暑さや寒さに耐えて、実をつけ花を咲かせる木のごとく、
この新入生一人一人も、いきいきと伸び、成長し、やがてそれぞれの花を美しく咲かすことができますように、神様が必要なすべてを豊かに注いでください。
このお祈りをイエス様のお名前によって感謝してみ前におさげします。アーメン。



2012年度新入生研修会開催

1年生にとって入学後初めての土曜日、桜の花が咲く中で新入生研修会が開催されました。午前中は、「生きているから」というテーマで、シンガーソングライターの岩渕まことさんの講演コンサートがありました。優しい歌声と、深い思いが込められた一曲一曲に、新入生は大きな感動を味わっていました。午後はグループ活動。コンサートを振り返りながら、2年間ともに学ぶ仲間同士で、これから的学生生活や将来に向けての思いと決意を語り合いました。岩渕さんが届けてくださった曲のタイトルの通り、新入生一人一人にGod Bless You（神様の祝福がありますように）！



新入生の声

児童福祉学科1年 坂本 彩奈（神奈川県立大和南高等学校出身）



専攻科 横倉 希（麻布大学附属淵野辺高等学校出身）



私は和泉短期大学に入學して子育てひろば「はっぴい」や「遊ぶんじゃー」などのたくさんのボランティアがあることを知りました。実習の他にも実際に子どもとふれあうことが出来る機会があるのが嬉しいです。まだ新しい生活が始まったばかりで忙しかったり、不安に思うこともあります。優しくて明るい先輩や先生方のアドバイスを受けながら、よりよい保育者になれるように一生懸命学んでいきたいと思います。

2011年度眞鍋記念奨学生特別奨学生の顕彰式

眞鍋記念奨学生は、学校法人クラーク学園の設立に功績のあった、故・眞鍋頼一理事長の寄附を基金とする奨学生です。

本学の理念である、キリスト教精神の“愛と奉仕”的もと、広く社会に貢献する学生の育成を図るために、毎年成績優秀な学生に対して、2年次後期の授業料が支給されます。

2011年度は石橋奈実さんと大石沙耶さんが特別奨学生に決定し、和泉クラーク・ホールにおいて卒業感謝礼拝後に顕彰式が行われました。



大石沙耶さん(左)・石橋奈実さん(右)

眞鍋記念奨学生特別奨学生 受賞者の声

大石 沙耶（神奈川県立上鶴間高等学校出身）

私にとって和泉で過ごした2年間は「宝物」です。毎日が楽しく、仲間と共に勉強に励み、自主的に活動する機会が多くあった日々は、私を大きく成長させました。そして、仲間との絆をより深めていくことができました。

保育の学びを深めていく上で、人は人と共に支えあって生きていくという根本的なことを再確認し、感謝の気持ちを忘れず過ごすことを改めて考えることができました。

今年度の眞鍋記念奨学生の特別奨学生に選ばれたのは、私を支えてくれた大切な仲間、自由な学びをさせてくれた先生方、いつも温かい目で見守ってくれた家族の方があつたからだと思っています。本当に心から感謝しています。

和泉で得た人としての在り方や、“愛と奉仕”的精神を胸に刻み、毎日を精一杯過ごしていきたいと思います。

石橋 奈実（神奈川県立麻溝台高等学校出身）

私が和泉に入学したのは、小学生からの夢であった“幼稚園の先生”になりました。しかし、実際になったものは保育士でした。実習や、授業、園見学を通して、私の夢は保育士へと変わりました。しかし、保育士になったことに後悔はありません。

今まで幼稚園教諭になるために勉強してきたはずです。しかし、私のように将来の夢がこの二年間で変わることもあるのです。だからこそどの勉強であっても精一杯やっていく必要があるのだと私は自分の経験を通して実感しました。

様々な授業の中で、この授業は苦手だと思うことやこの授業は楽しいと感じました。しかし、どの授業であっても頭に入れておくべきことは、必ずあります。必要なことを頭に入れて実習へ臨むことはとても大切なことであると教えて下さった先生方には感謝しています。

眞鍋記念奨学生の奨学生に選ばれたということはとても嬉しいことです。しかし、友達や先生方の支えも忘れてはいけません。

奨学生になったからこそ、感謝の気持ちを忘れず、社会へと出していく必要があるのだよ強く思いました。

中島武夫記念賞と讃岐和家記念賞を受賞して（2011年度卒業証書・学位記授与式において表彰されました）

高梨 瑞穂（神奈川県立厚木北高等学校出身）

2012年3月16日（金）に和泉短期大学を卒業し、早くも2ヶ月となりました。

2年間を共にした大切な仲間たち、常に私たちを支え、励まして下さった先生方との別れとなった卒業式は今でも昨日のように感じます。

さて、中島武夫記念賞と讃岐和家記念賞をいただいたことに、心から感謝申し上げます。しかし、このような偉大なる賞を二つもいただけたことは私の努力だけでなく、大切な仲間たちや尊い先生方のご指導があってこそだと思うのです。

辛いとき、苦しいとき、仲間たちが支えてくれました。

壁にぶつかったとき、前が見えなくなったとき、先生方が道標になってくださいました。

そのようなくさんの方々の支えがあってこそ、私は様々なことに全力で取り組むことができたのだと強く感じています。

和泉短期大学に入學し、様々な人と出会い、他では決して学ぶことのできない多くのことを学びながら2年間という月日を過ごせた結果、偉大なる賞をいただくことができました。皆様方、本当にありがとうございました。



日本介護福祉士養成施設協会表彰を受けて（2011年度修了証書授与式において表彰されました）

羽生 亜紀子（神奈川県立藤沢北高等学校出身）

児童福祉学科を卒業し、保育所で保育士として働かせていただく中で、子どもたちが持つ高齢者に与える影響力、それに応える高齢者の秘めた力に魅力を感じていました。このため、「もっと高齢者について知りたい」と思い専攻科に入学しました。専攻科では、1年間という短い間に、実習や介護保険のしくみ、介護技術の習得など様々な分野を学びます。今、思うと充実していた日々でした。現在は、介護老人福祉施設に勤務しています。人生の先輩である利用者様に対する尊敬の心を持ち、笑顔を忘れずに日々成長していくよう努力の毎日です。



日本介護福祉士養成施設協会表彰とは

日本介護福祉士養成施設協会加盟の養成校において、毎年度、学業成績、人物とともに他の模範となるべき学生1名に、修了証書授与式で賞状と記念品を授与します。

図書館の活動

図書館長 井狩 芳子 教授



2010年4月より、本学図書館の館長職を務めさせていただいている。2年が経過する中、国内外で図書館をめぐる環境や課題が大きく変化し、各館は、IT化にともなうべく、書籍に係る価値観の大転換と図書館の使命・地域連携事業や災害時などの図書館の役割等、待ったなしの大きな課題を取り組んでいます。本学図書館の課題は、第1項目として「学生自身が利用しやすい図書館への模索」、第2項目として「各機関との連携事業の模索」と考えます。この視点にたち、2011年度には課員の方の発案によるキャラクター作成、資料貸借に係る情報発信の見直し、2012年度にはメール配信の積極的活用や新企画も試行します。本学の使命は保育者養成です。乳幼児期の子どもは五感、つまり身体全体で本を読み、身体の様々な機能を発達させます。学生の皆さんには、乳幼児期におけるこの特徴を深く認識したうえで、本を読む楽しさを実際に伝えることの出来る力を体得してほしいと思います。その習得の一助として図書館を奮って活用していただきたいと思います。私達自身も試行錯誤の連続ですが、皆様からのアイディアもお待ちしています。



左から三好主任、外田さん、小池さん、深町リーダー

受賞のきっかけとなった活動について

図書館の館員一同、学生の皆さんと本を媒体に心通じる喜びを大切にしています。図書館のオリジナルキャラクター《ヨミタン》を誕生させ、図書館運営活動に活用し、学生さんと図書館の連携・親睦に役立て、思い出に残してもらえるような図書館にしたいと願っています。

2012年4月から図書館の絵本書架が増えました。大型絵本・しきけ絵本・小型絵本が混在して展示できる、真っ白で可愛らしさのある、思わず手に取りたくなる魅力的な空間を与えてています。これからも、「素敵な本のディスプレイ」をモットーに図書館の本を更に魅力的に、ご利用いただけるよう努めてまいります。

また、ビブリオバトル2012などのイベントを企画しています。(1)面白い本を見つけて読んで集まる。(2)順番に一人5分で紹介し、その後2~3分のディスカッションをする。「どの本を一番読みたくなったか?」を基準に全員で投票を行い、その日のチャンプ本を決める。といったルールです。本を紹介するという行為によって、新しいつながりが発見される場となっていけば、と願っています。

図書館オリジナルキャラクター
《ヨミタン》

ウェルカムパーティー開催(宗教部)

宗教委員会 山本 美貴子 準教授



4月18日(水)昼休み、宗教部「第2回ウェルカムパーティー」を行いました。チャペルアワー・特別礼拝・クリスマス諸行事などで役を担う全学生が一堂に集って親睦を深め、より意欲的に活動することを願い開催しています。当日は、66名の学生(2012年度1年・2年・専攻科チャペル委員、学生聖歌隊、和泉クリスチヤンフェローシップ=I.C.F.のメンバー、新規加入検討中の人们、ハンドベル部員)が、係や団体毎にテーブルを囲み、来る1年について話しました。各自が持参した昼食に、可愛い春のスイーツが花を添え、初対面の学生同士も会話を弾んで和やかな実り多きひと時となりました。ご協力、ありがとうございました。

神様の御護りの内に、今年度も頼もしき学生メンバーが与えられました。彼らを通して更に多くの学生がキリスト教活動に親しみ御教えを知る機会となりますよう、これからもどうぞお支え下さい。

2012年度「新入生歓迎会」開催

学生委員会 大下 聖治 準教授

去る4月4日(水)、「新入生歓迎会」が開催され、新2年生たちが企画したプログラムに、全学挙げて盛り上りました。昨年は、震災の影響から「新入生歓迎会」が中止となつたため、伝統的に続けてきた「パフォーマンス合戦」の次代への引継が難しい状況での計画となりましたが、新2年生の執行部を中心に検討を重ね、準備を進めてきました。グループごとに新入生と2年生が共同で1つの作品を創り上げていく新プログラム「壁面構成」は、先輩、後輩、友達の絆を深めるきっかけになりました。新入生にとっては「和泉に入学して良かった」と思える1日になったのではないかでしょうか。

(学生スタッフ・委員長=井古田高介、副委員長=加藤夕稀、小幡奈穂、紙屋龍一)



キャンパスショップ 人気商品ベスト5発表

こんにちは、Yショップ和泉短大店です。開店当初からたくさんの皆さんにご利用いただき、誠にありがとうございます。ここで皆様に、当店の人気商品ベスト5をご紹介いたします。**第一位**、お菓子類から良味100選シリーズ。**第二位**、パン類からランチパックシリーズ。**第三位**、デザート類からシュークリーム。**第四位**、食品類からこんがりパンスープシリーズ。**第五位**、アイスクリーム全般。これらの品々が、皆様よりご支持をいただいております。また、豆いっぱいの大福も、秘かな人気商品です。今後も充実の品揃えで、皆様のご来店をスタッフ一同、心よりお待ちしております。



イースター特別礼拝、創立記念礼拝をお捧げしました



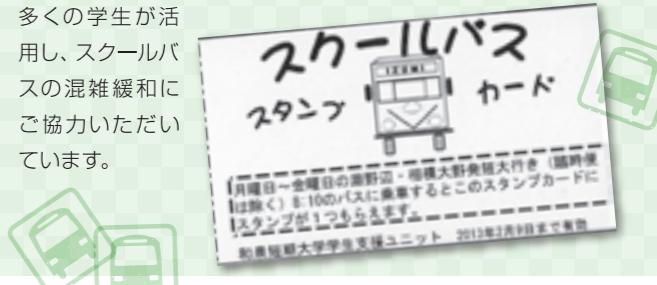
4月9日。新年度初めてのチャペルアワーは、御子イエス様の復活を記念するイースター礼拝でした。「空しさを越えて」と題して、日本基督教団 橋本教会牧師の須田 拓先生にお話しいただきました。初めてのチャペルアワーに出席した学生にも分かりやすく、一人一人の心にイースターの喜びが届いたことでしょう。

4月23日には、学校法人クラーク学園の創立記念礼拝をお捧げしました。深町正信理事長が「神に生かされ、生きる」というテーマでお話くださいました。法人名称であるカルピット・クラーク博士のお働きを中心に語られたメッセージによって、創立56周年を迎えた学園の今を生きる私たちに何が重要かを充分に認識することができました。

スクールバススタンプカード発行

毎朝1時限目開始直前に到着するスクールバスの混雑緩和を図るために、早便の運行(淵野辺・相模大野それぞれを8時10分に出発)のスクールバスに乗車すると、1回の利用で1ポイント付与し、20ポイント集めると、学生食堂で使える食券と交換できるスクールバス早便乗車促進のサービスを行っています。

2009年度より始まり、現在4年目を迎えるスクールバス早便乗車促進のサービスは大変好評です。スクールバスを利用する多くの学生が活用し、スクールバスの混雑緩和にご協力いただいている。



活躍する卒業生 PARTII



私は、1995年に保育士と社会福祉士受験資格を取得して和泉短期大学を卒業しました。卒業後は、知的障害者授産施設(現:生活介護、就労継続支援B型)で7年間勤めました。和泉の時に学んだ権利擁護とノーマライゼーションの視点が強く印象に残り、そのことを大切にしながら、障害のある方に施設内で作業を提供し働く喜びを感じてもらいました。

退職後は、日本社会事業大学に3年次編入をしました。久しぶりの学生生活は、学ぶことが大変楽しく感じられたと同時に、現場で働いている時は気がつかなかった制度や理念の変革を知り勉強不足を痛感したため、卒

業後は大学院に進学をしました。

修士課程を終えた後、縁あって和泉短期大学の実習・ボランティアセンターに助教として2年間勤めさせていただきました。自分が教わった先生方に見守られながら、保育士を目指す学生の実習の相談に乗ることは大変嬉しく感じました。

その後、より専門性を活かすため、社会福祉士の養成校である田園調布学園大学に移らせていただきました。現在も実習センターにいるため、和泉での実習配属の経験を活かすことができています。また、実習指導の授業を持たせていただいているのですが、その授業では、自分が和泉の時に経験した「実習生」という立場、施設現場で経験した「実習指導者」としての立場を活かして、「実習生を送り出す教員」として日々学生と向き合えることに大きなやりがいを感じています。現在の自分があるのは、すべては和泉での学びから始まっていると思っています。ここまで成長させていただいたことに感謝し、微力ながらこれからも社会に求められる福祉の人材育成に携わっていきたいと思っています。

退任教員挨拶 (2011年度)

専任講師 斎藤 純



私は和泉短大を卒業し、保育所保育士として勤務しました。その後再び、今度は教員として和泉でお世話になることができました。2年間は実習・ボランティアセンターにて、その後3年間は専任講師として学生と共に学ぶ機会を与えて頂きました。私は在学中から今も変わらず、和泉が大好きです。和泉の良さの一つは、学生と教職員の距離が近いことだと思います。教員は学生との距離を身近に感じると、少々厳しいこともストレートに伝えることができます。それを学生もしっかりと受け止めてくれ、正直に言葉を返してくれます。その繰り返しから、更に距離が縮まります。ただ、和泉の良くない点の一つ、これもまた学生と教職員の距離が近いことが挙げられると思います。学生自身、自分で考えれば導き出せる問題でありながら、すぐに教員に正解を尋ねようとしてしまいがちです。「自分はどう思うの?」と尋ねると、ちゃんと自分の考えをもっているのです。距離の近さが良い方に働き、学生が自信をもって、一人の保育者・社会人として巣立っていくことを願っています。私は再び和泉を卒業し、4月から他大学にて歩んでいきます。いつまでも和泉の卒業生であることを誇りに思い、和泉のファンであり続けたいと思います。ありがとうございました。

退役員

永年に渡って和泉短期大学の教育の充実に多大なご尽力をいただきましたことに感謝いたします。

布施 英雄 理事・前評議員



理 事 在任期間 1985年7月29日～2012年6月14日
26年10ヶ月間(7期)

評 議 員 在任期間 1982年6月1日～1998年5月31日
16年間(8期)

眞鍋 恵三 評議員・前理事



評 議 員 在任期間 1978年6月1日～2012年3月31日
33年10ヶ月間(17期)

理 事 在任期間 1980年6月1日～2008年6月14日
28年間(7期)

第六代学長 故・讃岐 和家氏夫人からのお手紙

春も間近く、学年末に向けてご多忙のことと存じあげます。

この度はステンドグラスの完成のおしらせをいただきありがとうございました。本当におめでとうございます。

佐藤守男先生が長い時間をかけて思考を重ね渾身の力をこめられたすぐれた芸術作品でもあるステンドグラスの御完成

を和家も心からお喜び申し上げていることと存じます。いただいたカタログと絵葉書と一緒に和家の前で拝見しております。

イエスの深い悲しみと人間にに対する限りない慈しみのまなざしをそれぞれの像から感じ、強く心を打たれております。

佐藤先生の信仰と深い愛の心もジワーッと伝わって来て何度も飽かず、二人で拝見しております。

和泉の精神をあらわすキリストの愛の永遠の泉——キリストの泉——にとりわけ心をひかれております。

美しい聖らかな10枚のステンドグラスがチャペルに集まる人々に与える感動を想つて和家は喜んでいるにちがいありません。

カタログをお送り下さいまして、ありがとうございます。

クラーク学園和泉短期大学そしてそれをお支え下さる先生方、職員の方々の上に神様のお恵み、御護りがいつまでも豊かにあるように和家と共に祈り申します。

讃岐
英子